

今秋三里塚-国鉄決戦勝利！

10・10青年部7割動員

日刊 動労千葉

84. 7. 14

No. 1689

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

全支部青年部活動者会議開催

青年部は、7月6日、7日の2日間にわたり労働者福祉センターにおいて、第6回全支部青年部活動者会議を開催しました。

会議は、本部より中野委員長、水野副委員長、片岡教宣部長を招き、全支部から青年部役員・活動家50名が結集し、活発な討論をとおして「10・10三里塚現地集会に青年部7割決起を実現する」こと等を全員で確認し、成功裡に閉会しました。

青年部通信員・発

大量首切り攻撃に反撃し、中曽根を倒せ

一日目は、本部からのあいさつとして片岡教宣部長から「『過員』攻撃＝首切り攻撃を焦点とした国鉄決戦と同時に、三里塚二期強行情勢も切迫している。今こそ労働者の存在が問われている時ではなく、日帝・中曽根と断固対決し、動労千葉の『三里塚を闘う労働運動』の歴史を学び、動労革マルを許さず、闘う決意を打ち固めてほしい。これからは若い青年労働者の時代だ」と檄を受けました。

つづいて、田中青年部長より、基調報告を受けました。

基調報告では、今日の国鉄攻撃は「戦後政治の総決算」を狙う中曽根の戦争体制づくりの中心軸であり、大量首切り攻撃の宣言である。国鉄労働運動解体攻撃が新たな本格的な局面に入ったものとして断固として反撃していかなければならない。

国鉄攻撃の根本的原因たる、日本帝国主義のいさざまりという問題を今こそ全国鉄労働者が体制変革の視点にたつて中曽根打倒＝実力闘争に基づく政治的決起をもつて闘いぬいていく必要がある。

それは、青年部員一人一人が動労千葉の基本路線である「三里塚と国鉄を軸に中曽根を打倒する労働運動」を全体で闘いぬくことである、と提起され、各支部より活発

な討論に移りました。

次いで、水野副委員長より労働組合の活動・組織・財政等について話を受けました。労働者が組織をつくり、体制変革のために活動する、そのためには「受けおい主義」にならず、みんながどう組織を運営し、財政を支えていくのか等々について基本的な問題から現実的な問題まで例にとりながら組合運動の原則等について講演されました。一日目は、最後に映画「怒りをうたえ」を見て終了しました。

「10・10三里塚」へ、青年部7割動員かちとるぞ

2日目は、中野委員長より「過員」攻撃と今後の展望について講演を受けました。

今日の「過員」攻撃は、一九四九年に十万人大合理化＝定員法によるレッドパーシが行われ、戦後革命的情勢をたたきつぶし、独占資本の立て直しを行ってきたことと同じように、再び、戦闘的国鉄労働運動の背骨をたたきおろすための首切り攻撃である。この攻撃に対し、既成指導部の屈服をのりこえ、敵を見すえ、腹をすえて闘うことである。そのためにも、現在の青年部は、もつともつと知識・経験をこんで、全組合員の決起を牽引する部隊として成長してほしい、と約一時間半にわたって熱く訴えられ、全青年部員は熱心に聞き入りました。

質疑・討論を受けた後、繁沢書記長より、まとめを受け「青年部は、10・10三里塚現地集会に青年部7割動員をもつて総決起する」ことを全員で確認し、成功裡に終了しました。



7・17総決起集會

臨調・国鉄合理化粉碎、職場規律・執務態度厳正攻撃粉碎、7・17動労千葉総決起集會
・とき：7月17日（火）17時30分
・ところ：津田沼電車区
総決起しよう！